

## 第5学年1組外国語活動学習指導案

学 級：第5学年1組

場 所：仙台市立大野田小学校 音楽室  
授業者：H R T 栄利 滋人

1 単元名 Hi friends! 1 Lesson 8  
I study Japanese. 「夢の時間割」を作ろう

### 2 単元の目標

- (1) 時間割について積極的に尋ねたり答えたりしようとする。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- (2) 時間割についての表現や尋ね方に慣れ親しむ。【外国語への慣れ親しみ】
- (3) 世界の小学校の学校生活に興味を持つ。【言語や文化に関する気づき】

### 3 単元について

#### (1) 題材について

児童はこれまでの学習を通して、英語を聞いたり話したりすることに慣れ親しんできたとともに、日本と世界との様々な習慣や文化に興味や関心を広げてきた。本単元では、さらに世界への興味や関心を広げるために、身近な話題として世界の小学校で学習されている教科を取り上げる。その際、教科書や時間割を活用しながら活動を進める。また、ここでは児童の学習負担を考慮して、教科名と曜日を中心に扱うこととする。

本単元の最後には、一人一人が作った時間割をグループで発表させる。発表は、時間割の曜日を尋ね、児童が考えた夢の時間割を伝え、スペシャル教科がある曜日を当てるといったクイズ形式を取る。教科名を英語で言うだけでなく、英語表現特有の言い回しのリズムなどに親しませながら、なぜそのような時間割を作ったのか簡潔な英語や日本語で説明させ、根拠を示すことの大切さにも気付かせたい。

#### (3) 指導観

外国語活動において、単元に設定されている表現等を使用させる場合には、児童が聞く・話す必然性がある場面設定をすることが大切である。そうすることによって、児童が言葉でコミュニケーションを図る楽しさを感じながら、さらに聞いてみたい、話してみたいという思いをもつようになる。コミュニケーションでは、相手が何を伝えたいのかを聞こうとする態度、相手に自分の考えが伝わるように話そうとする態度が大切である。これは、互いに相手の情報を知らないこと（インフォメーションギャップ）から自然に生まれる。見てすぐ分かることやすでに知っていることでは、コミュニケーションは生まれにくい。そこで、次の活動において以下のような工夫を行う。夢の時間割作りの中で、時間割を互いに見せないようにし、インフォメーションギャップがある中で相手の時間割を予想する活動を行う。スペシャル教科としてオリジナルの活動を時間割の一つ入れ、どの曜日にあるかを予想して尋ねさせる。相手の時間割を予想する活動は、聞こうとする、伝えようとする必然性がある。そして、「教科や曜日」について、英語表現を使って尋ねたり答えたりし、会話のやりとりを楽しませることができる。また、英語表現に慣れ親しませるために、キーワードゲームやチャンツ、ストーリーテリング（紙芝居、ペープサート等）を活用し、繰り返し英語表現を聞かせる機会を多くしていきたい。

単元の第1、2時は、主に教科や曜日の英語表現や音声に慣れ親しむ活動を多く取り入れたインプット重視の視点で行う。まずは「聞いて分かる」ことをねらい、紙皿カードやICTを活用しながら、視覚的に意味が分かりやすい環境を作り、キーワードゲームやチャンツでたくさんの英語表現を聞かせる。第3時は、さらに外国の授業の様子をデジタル教材のビデオで紹介し、外国の小学校への興味関心を高めていく。第4時では、音声で英語表現に慣れ親ませながら、夢の時間割を作る活動を行う。第5時（本時）では、インフォメーションギャップを取り入れた活動を行う。教科や曜日を含んだ尋ねる英語表現を取り入れて慣れ親しませた後、作成した夢の時間割を尋ねたり答えたりする活動を行い、スペシャル教科について紹介させる。

また、自己評価シートを活用し、振り返りの視点を示し、活動への取り組みを自分で理解できる

ようにする。英語を聞こうとする態度，話そうとする態度，会話を続けて楽しもうとする態度，外国の文化，発音や言葉への気づき等を毎時間振り返らせる。児童の振り返りを次時の最初で紹介し，振り返りの視点を共有していく。自分の取り組み方を認識することにより，次の活動ではより積極的なコミュニケーションができるように意欲を高め，慣れ親しませていくことをねらう。

【具体的な手立て】

(1) 視点1 **児童が思わず聞きたくなる，伝えたくなるような活動の設定**

①インフォメーションギャップがある状況を作り出すアクティビティの工夫

(2) 視点2 **電子教材も含めた「Hi, friends」の効果的利用**

①テンポよく，繰り返しネイティブ音声を聞かせるための教材活用

②紙教材と電子教材，両方の良さを生かした活用

(3) 視点3 **児童の意欲を高め，コミュニケーションにつなげる評価方法の工夫**

①振り返りカードの活用（聞く，分かる，尋ねる態度について自分の取り組みを振り返る）

②振り返りカードでの気づきを次時で児童へ紹介し，積極的な態度を促す

(4) 視点4 **共助の態度を養う活動の工夫**

①協力する場面のあるグループ活動の設定

5 単元計画（5時間扱い 本時5/5）

時	ねらい	主な活動 ○ゲーム	使用表現
第1時	曜日や教科などの言い方を知る。  【外国語への慣れ親しみ】	【L1】「スリーヒントクイズ」(P32) ○「ポインティングゲーム」 ○「カード取りゲーム」 【L1】音声教材で時間割を聞き，紙面の教科を指したり，カードを取ったりして楽しむ。 【S】"Sunday, Monday, Tuesday" 歌で曜日の言い方を知る。	Japanese, English, math, social studies, science, music, PE, arts, crafts, home economics, calligraphy, 曜日 (Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday)
第2時	曜日や教科などの言い方に慣れ親しむとともに，外国の小学校と自分たちの学校生活の共通点や相違を知る。	○「キーワードゲーム」(P33) ○「聞いてカードをならべよう。」 ○「教科でポーズ」 【C】"What do you study?" 【S】"Sunday, Monday, Tuesday" ・教科などの言い方を聞いたり，言ったりしている。	I study ~on ~. What do you study on ~? math, . . home economics, calligraphy, 曜日 (Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday)

第 3 時	時間割について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。	【L2】外国の学校生活についての音声教材を聞いて、分かったことを誌面に書く。 【S】"Sunday, Monday, Tuesday" 【C】"What do you study?" 【P3】好きな教科名と理由を書く。 ○「仲間をさがそう。」好きな教科などを選んだ仲間を見つける。	I study ~on ~. What do you study on ~? Japanese, English, math, social studies,...., calligraphy, 曜日 (Sunday... Friday, Saturday)
第 4 時	時間割について、積極的に尋ねたり答えたりしようとする。 自分の夢の時間割を作り、スペシャル教科を考える。	【C】"What do you study?" ○「時間割を伝え合おう。」ペアで伝え合い、時間割を完成させる。 【A】音声教材で2人が紹介する夢の時間割を聞いて誌面に書く。	I study ~on ~. What do you study on ~? Math.... calligraphy, 曜日 (Sunday, Monday, Tuesday, ....., Saturday)
第 5 時 本 時	積極的に時間割を伝え合おうとする。	【C】"What do you study?" ○「夢の時間割を紹介しよう。」2グループで時間割を尋ね合おう。作った夢の時間割で、スペシャル教科のある曜日を当てさせる。 スペシャル教科を紹介させる。	I study ~on ~. What do you study on ~? Japanese, English, math, social studies, 曜日 (Sunday, Monday, Tuesday, .... Friday, Saturday)

## 6 本時の指導（5 / 5時間）

### （1）本時のねらい

What do you study on ○○. I study ○○... and ○○.の表現を使い、積極的に時間割を伝え合おうとする。

### （2）使用表現

What do you study on ○○. （曜日の表現）

I study ○○... and ○○. What's this? It's ~.

### （3）準備物

紙皿絵カード PC（デジタル教材） 拡大時間割ワークシート、大型テレビ

### （4）指導過程（5 / 5時間）

過 程	児童の活動	教師の支援	準備物 ※視点
--------	-------	-------	------------

<p>導入 10分</p>	<p>1. あいさつでNoNoYes!をする。</p> <p>天気、曜日にYes, Noを表現する。</p>  <p>前時の振り返りカードの紹介を聞く。</p> <p>2. 曜日の歌を歌う。</p>  <p>3. 教科でキャッチ(アクティビティ)</p> <p>グループで教科の英語を聞きながらキャッチゲームをする。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽の位置を変えながら挨拶の音声を聞かせながら、児童と挨拶のやりとりをする。</li> <li>天気や曜日で、わざとNoと言う絵を見せながらいろいろな英語音声を聞かせる。</li> <li>前時の振り返りカードから、よい気づきを紹介する。</li> <li>曜日の紙皿カードを貼り、歌に合わせて絵を指さし、音声と絵を結びつける。</li> <li>テレビに教科を提示しながら、教科の英語音声を聞かせて慣れ親しませる。</li> <li>左手の手の平を上に向け、右手の人差し指を隣の人の手の平に立て、キーワードで指をつかむ(触る)ゲームをさせる。</li> </ul>	<p>iPad デジタル 教材 ※視点2 紙皿カード iPad デジタル 教材 ※視点3 ※視点2 ※視点4</p>
<p>展開 ① 10分</p> <p>展開 ②</p>	<p>4. チャンツを言う。</p> <p>"What do you study?"</p> <p>5. 「忘れ物王子」紙芝居を見る。</p> <p>家庭科の裁縫セットを忘れた！ ① 他のクラスの子から借りよう！ 時間割を尋ねよう！</p>  <p>スペシャル教科って何？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3つの教科を紙皿カードで提示し、チャンツの途中で一つを取り、リズムに合わせて2つの教科を言わせる。</li> <li>裁縫セットを借りるために他のクラスの友達に時間割を尋ねる紙芝居(ペープサート)を見せ、What do you study on ~?を何度も何度も繰り返し聞かせる。</li> <li>☆マークについて「What's this?」とスペシャル教科を尋ねて、「It's ~.」と答える言い方を繰り返しながらスペシャル教科の意味を理解させる。</li> </ul>	<p>紙皿カード デジタル 教材 ※視点2 iPad デジタル 教材 ※視点1 iPad デジタル 教材 時間割の カード ※視点1</p>

20	夢の時間割を紹介しよう		
分	<p>6. スペシャル教科は何曜日？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を出すグループと当てるグループに分かれる。</li> <li>・一つの4時間目だけにオリジナル教科の☆マークがあるカードを選ぶ。</li> <li>・スペシャル教科の曜日を当てるためにWhat do you study on ～？をリズムに合わせて尋ね、I study ～, ～, ～, and～. と答える</li> <li>・スペシャル教科の曜日が当たったら, 「What's this?」と尋ねる。</li> <li>・グループを交代して同様に行う。</li> </ul> <p>7. 夢の時間割を紹介しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表児童が時間割を答える。</li> <li>・What do you study on ～？と全員で尋ね、スペシャル教科の紹介を聞く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に準備した夢の時間割カードの中から1枚を選んで参加させる。</li> <li>・What do you study on ～？の英語音声聞かせてから、質問をさせるようにする。</li> <li>・答える時は、4時間目の前に「and」を入れて言わせ、教科を読み上げていく英語特有のリズムに親しませる。</li> <li>・スペシャル教科を尋ね、説明させる。</li> <li>・繰り返し聞かせながら、曜日や教科の英語、教科を尋ねる言い方、答え方に慣れ親しませる。</li> <li>・曜日の「What do you study on Monday」の表現をリズムに合わせて3回繰り返して言わせ、グループを順に尋ねて言わせる。</li> <li>当たらなかった時は、カードを見せ、☆の曜日を尋ねさせ、スペシャル教科について説明をしてもらう。</li> <li>・スペシャル教科の曜日を確かめてから全員で尋ねさせ、時間割を言わせる。</li> <li>・「What's this?」「Why?」等、続けて質問をし、会話のやりとりを楽しませる。</li> </ul>	<p>iPad デジタル教材 ※視点1</p>
結	<p>5. 本時の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りカードに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の積極的に話そうとする態度でよかったところをほめる。</li> </ul>	<p>振り返りカード</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。 Thank you very much. Good-bye, ○○-sennsei. See you.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。 That's all for today. Good-bye, everyone. See you next time.</li> </ul>	<p>※視点3</p>
分			

(5) 本時の評価

- ・What do you study on ○○. I study ○○... and ○○. の表現を使って、積極的に時間割を伝え合おうとしたか。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】